

<基本情報>

所在地：大分県臼杵市野津町

<農場概要>

- 面積: 3 ha (すべて有機)
- 従業員: 5名 (夫婦、雇用3名)
- 栽培品目: なす、はくさい、ケール等露地野菜(約80種類)



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 園主の槌本俊貴氏は、子どもの頃から野菜嫌いであったが、大学在学中(国際関係学部)に、ある有機農家を作った野菜の美味しさに感動し有機農家を志す。就職活動として全国の農家などを訪問する中で、臼杵市の積極的な有機農業推進の取組に感銘。
- 平成28年(2016年)に新卒で臼杵市地域おこし協力隊へ。有機農業研修生第1期生として、同市内の有機農家で3年間の研修。
- 平成31年(2019年)4月に就農(約70a)。
- 令和4年(2022年)3月に有機JAS認証を取得後、長野県内の先進的有機農家でスタッフとして半年間の修行。

<販売について>

- 小売店卸、飲食店卸への出荷が中心。主な販売先は関東・関西や福岡市など。さらに販路開拓中。個人宅配も実施。



【お問合せ先】TEL. 080-1407-7736

ホームページ：<https://tsuchimotofarm.com>

<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- 土壌分析結果に基づく科学的な土づくりを重視。オーガニックビレッジの臼杵市が運営する土づくりセンターで作られた「うすき夢堆肥」(草木類8割、豚糞2割)のほか、アミノ酸肥料、自家製ぼかし肥料(米ぬか、魚粕、油粕、カニ殻など)や発酵鶏ふんなどを、土壌の状態に応じて効果的に活用。
- BLOF理論に基づく太陽熱養生処理による土壌団粒化の促進と雑草対策。収穫した野菜の状況から土壌の状態を注視・観察。
- 防草シートや中耕による初期除草の徹底、銅やカルシウムなどミネラルの活用による病害虫抵抗力の向上、害虫の発生状況に応じた防虫ネットなど資材の効果的な活用。

<苦労しているところ>

- 多品目栽培は多くの手間を要するが、槌本農園のさらなる強みとなるよう取り組んでいきたい。

<今後の展開>

- 販路開拓に伴う圃場面積・生産量の拡大と、真剣に農業に向き合える人材の雇用を進めたい。
- 生産性の向上。規模拡大を進めながら、機械を有効に活用した効率化を進めたい。

